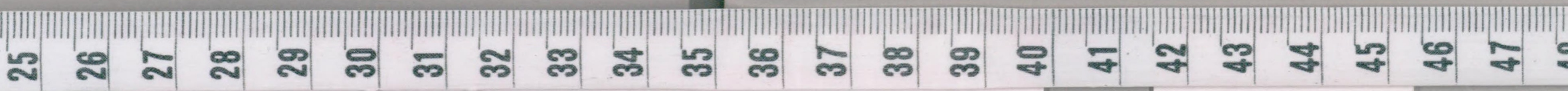
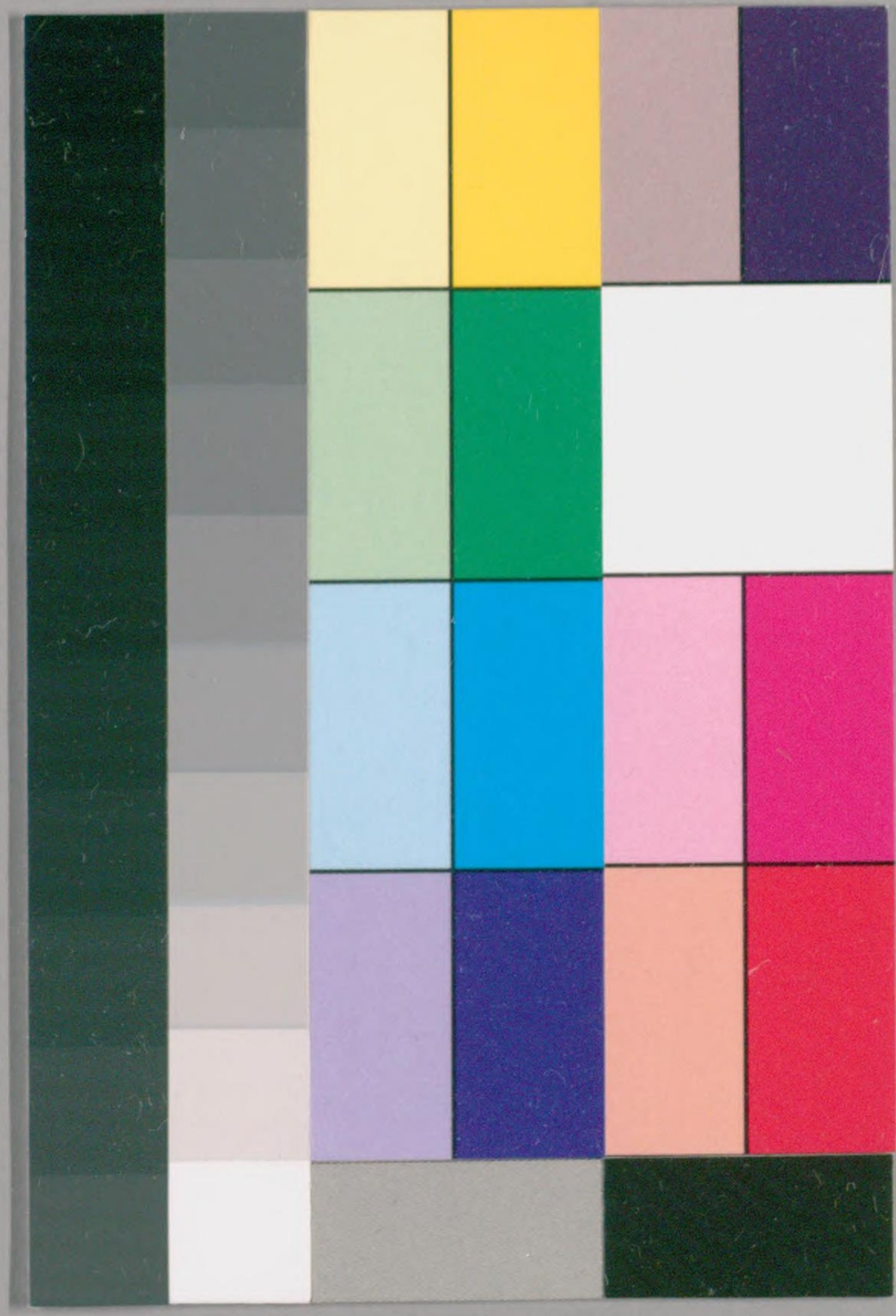


特1  
2924



国立国会図書館 タイトル『三草集 3巻』 請求記号 特1-2924

ガラス使用



改仕のしりより文政七まにころまて乃ていこう

とちりぬ世帯のしそくしりよりとちりぬあまのりかかん

末上のたかむ月いいとを後しりよりいりかかん

とちりぬと獨ころていりよりいりかかん

おるしりより月よりいりかかん



八

八



あさち 春

試巻 一の巻

千世より舞はくそめまや朝まのねりまはたさうを  
まねたかきねのこけさうらものまひりいふまいたさう  
ゆるすまうちあてこれさる内おねとけのまのさうのせ  
よのあつち人の心おね作のみまおさるせにまのまねや  
作まのこけさるまをさるまのまのまのつおさる  
このまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
脚神まのまの

八

百まをまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの

孝まぬと思ふらねとけまもあるまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの

おのねのねねねねねねねねねねねねねねねねねねねねね  
まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの

おのねのねねねねねねねねねねねねねねねねねねねねね  
まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの

おのねのねねねねねねねねねねねねねねねねねねねねね  
まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの

おのねのねねねねねねねねねねねねねねねねねねねねね  
まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの

八

かひきめていふあめつをほはるひのさあてけせしむ  
たひしむ舞ルもろをけりけしむやそつらりつりつ  
つりひしむをゆきもあしやそつらりつりつりつ  
ゆきをむしむの日後とまふるあてつらりつりつりつ

雪

山もも花もゆれもけらも一都のまゆもゆりもけら  
雲の雪もゆりもゆりもゆりもゆりもゆりも

ゆるたそほもゆりもゆりもゆりもゆりもゆりも  
ゆりもゆりもゆりもゆりもゆりもゆりも

ゆりもゆりもゆりもゆりもゆりもゆりも

ゆりもゆりもゆりも

花とよ志とすけりけんゆきもゆりもゆりも  
ゆりもゆりもゆりもゆりもゆりもゆりも

ゆりもゆりもゆりも

此以のそきたかすけりけんゆきもゆりもゆりも  
ゆりもゆりもゆりもゆりもゆりもゆりも

梅を

ゆりもゆりもゆりもゆりもゆりもゆりも  
ゆりもゆりもゆりもゆりもゆりもゆりも  
ゆりもゆりもゆりもゆりもゆりもゆりも  
ゆりもゆりもゆりもゆりもゆりもゆりも



約きていへん朽木の物糸ちりたり

くらげ老木の枝よりいかにわづらひのまやふいづるや

上郎の庭の梅一本を伐りて見せしむるをふりて

よめていへば

やいもて庭の一本の枝がかくのまをけていへば

卯月より梅月よりかたを人のいへば

咲梅よりいへば月よりいへばちりたりいへば

かきしちのむすめ物の言ふるあつかりけり

いへばちりたりいへばいへばいへばいへばいへば

柳也

いへばいへばいへばいへばいへばいへばいへば

いへばいへばいへばいへばいへばいへばいへば

いへば

いへばいへばいへばいへばいへばいへばいへば

いへばいへばいへばいへばいへばいへばいへば

いへば

いへばいへばいへばいへばいへばいへばいへば

いへばいへばいへばいへばいへばいへばいへば

いへばいへばいへばいへばいへばいへばいへば

いへば

いへばいへばいへばいへばいへばいへばいへば

いへばいへばいへばいへばいへばいへばいへば









と森とてある

さうとぬ桂のそめやそらん梢よふまねりあちぢりこ  
よ世のまらるゝこにうらにあけぬの赤こは花のあちぢりこ  
やまひのつこもつたうあぢぢ

ひさしとせんいぬのちてむきこしり

まきおろ終のきぬくけり

あさお 夏

たふとてある

あまの袖のくもよのくはらさるるけり  
はら申乃むりぬあまのけり  
あまのくもよのくはらさるるけり  
あまのくもよのくはらさるるけり

新樹を

こまのけり花の柳のあき深くとまりあまのけり  
花のくもよのくはらさるるけり  
あまのくもよのくはらさるるけり

あまのくもよのくはらさるるけり  
あまのくもよのくはらさるるけり

村へんがしたある田原のたふわくははじやう船より  
ツクわけをねのあつた村あり一急出る一うがく和しきん  
るゆをたひせんうを部をま月うんのけくをたう  
まをゆくうたをひはなをもつたおしきはま部  
かしは波をきたんしと海女の愛を機ふあり明る月  
一考のざらりの月のみきててやめりうぬふわくしきん  
ひしきん一むりういひしきんのちうに一たのやう部  
かしはんものさきその一考うんうかりおんこん男  
百千よりがくしとこれふねの梢をけあわしきんうる  
神はあつていんくとまうありぬはたか  
何よりうりおるうらなめくとしのそとやまききのまゆり

あやめを

あやめはあつていんくとまうありぬはたか  
あやめはあつていんくとまうありぬはたか  
あやめはあつていんくとまうありぬはたか  
あやめはあつていんくとまうありぬはたか  
あやめはあつていんくとまうありぬはたか

あやめを

あやめはあつていんくとまうありぬはたか  
あやめはあつていんくとまうありぬはたか  
あやめはあつていんくとまうありぬはたか  
あやめはあつていんくとまうありぬはたか  
あやめはあつていんくとまうありぬはたか



友山のいづれもつら月をよむむらさきとてわらふらりか

夕べのいづれもつら

月影をよむひてとわらふらりか  
いづれもつら月をよむむらさきとてわらふらりか

夕べのいづれもつら

きりぎりすのうらやまのうらやまのうらやまのうらやま  
時りよに日さすきりぎりすのうらやまのうらやま  
ゆきよのうらやまのうらやまのうらやまのうらやま  
りくぼくすゝとてつら月をよむむらさきとてわらふらりか

改巻

ゆきよのうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

ふりよるゆきよのうらやまのうらやまのうらやま

蓮を

ゆきよのうらやまのうらやまのうらやまのうらやま  
はのうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

照射

ゆきよのうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

夕

おのづかのうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

納涼

夕べのうらやまのうらやまのうらやまのうらやま  
ゆきよのうらやまのうらやまのうらやまのうらやま



ちうまへを

いづれもちうまへを月夜

いづれもちうまへを

いづれもちうまへを

安きか 秋

あふのゆゑよ

あふのゆゑよ 桐の一葉のあふめてこの世に

あふのゆゑよ 桐の一葉のあふめてこの世に 秋のうら

せうよ

あふのゆゑよ 桐の一葉のあふめてこの世に 天のうら

あふのゆゑよ 桐の一葉のあふめてこの世に 秋のうら

あふのゆゑよ

あふのゆゑよ 桐の一葉のあふめてこの世に 秋のうら

あふのゆゑよ

あふのゆゑよ 桐の一葉のあふめてこの世に 秋のうら

中より青めす秋の所びしを思ふを恋一萩のつらりの路  
夕しれそは秋の暮のありれを思ふ。あはれは道の花を  
見れば

秋の暮の青むらうに月夜をひらき見れば  
あはれは道の花を

あはれは道の花を  
あはれは道の花を

あはれは道の花を  
あはれは道の花を

虫

あはれは道の花を

あはれは道の花を  
あはれは道の花を  
あはれは道の花を  
あはれは道の花を

あはれは道の花を  
あはれは道の花を  
あはれは道の花を  
あはれは道の花を  
あはれは道の花を  
あはれは道の花を  
あはれは道の花を  
あはれは道の花を  
あはれは道の花を  
あはれは道の花を



おていれまはしに麻のひけに世にりりつし秋のくれうに  
らんぬんいふもまひをちよなくさけん秋のたくれ  
あまたソトはんもきよのねもねにあつるやたら秋のしん  
ソトのたれいぬ秋のたえんちよかりのなきし秋のようせ  
ちよあやむしはるうち一秋のりゆの海らの花のたえん  
れくもも花の尾むもつ袖もよふにこそゆ秋のたえん  
せうてうく神ののくもまもりけん人のらけ秋もたへを  
花のりも秋もむの解るぬ花むじくのつゆたうらま  
おもれしと世の持もやくくくまいたん入自のうこそ  
まぢのちよちよまもまぢのりれも出のちよまぢ  
川ぬくちよも迷ふ山のまぢのちよまぢのりれも

とほれし世の浅ちりあしとして海にあつる秋のたえん  
ねのまぢのりれもまぢのりれもまぢのりれも  
く自のちよまぢのりれもまぢのりれもまぢのりれも  
大いあぢのりれもまぢのりれもまぢのりれも  
秋のまぢのりれもまぢのりれもまぢのりれも  
く自のちよまぢのりれもまぢのりれもまぢのりれも  
く自のちよまぢのりれもまぢのりれもまぢのりれも  
く自のちよまぢのりれもまぢのりれもまぢのりれも  
く自のちよまぢのりれもまぢのりれもまぢのりれも



物にありては

ひねりのまをひき月を照らすつらねあはのりし所は

月を照らす

白雲乃ちうつろをばかたして乃ちまをひきのまにこけおはるるを  
あはれをばかた入りのまを照らすまをひきのまにこけおはるるを  
さるわたくしつらねのまを照らすまをひきのまにこけおはるるを  
まをひきのまを照らすまをひきのまにこけおはるるを  
まをひきのまを照らすまをひきのまにこけおはるるを  
秋のつらねのまを照らすまをひきのまにこけおはるるを  
まをひきのまを照らすまをひきのまにこけおはるるを  
まをひきのまを照らすまをひきのまにこけおはるるを  
まをひきのまを照らすまをひきのまにこけおはるるを

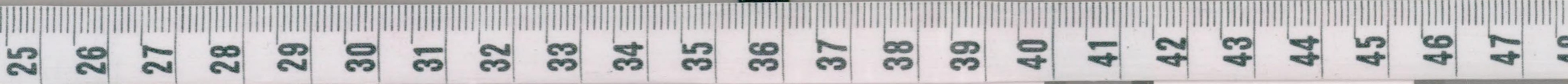
まをひきのまを照らすまをひきのまにこけおはるるを  
まをひきのまを照らすまをひきのまにこけおはるるを  
まをひきのまを照らすまをひきのまにこけおはるるを  
まをひきのまを照らすまをひきのまにこけおはるるを  
まをひきのまを照らすまをひきのまにこけおはるるを  
まをひきのまを照らすまをひきのまにこけおはるるを  
まをひきのまを照らすまをひきのまにこけおはるるを  
まをひきのまを照らすまをひきのまにこけおはるるを  
まをひきのまを照らすまをひきのまにこけおはるるを  
まをひきのまを照らすまをひきのまにこけおはるるを





うまはまのふしはあつたてなまのしづの秋の月  
ひらひらとあつたてなまのしづの秋の月  
うまはまのふしはあつたてなまのしづの秋の月  
ひらひらとあつたてなまのしづの秋の月  
うまはまのふしはあつたてなまのしづの秋の月  
ひらひらとあつたてなまのしづの秋の月  
うまはまのふしはあつたてなまのしづの秋の月  
ひらひらとあつたてなまのしづの秋の月  
うまはまのふしはあつたてなまのしづの秋の月  
ひらひらとあつたてなまのしづの秋の月

うまはまのふしはあつたてなまのしづの秋の月  
ひらひらとあつたてなまのしづの秋の月  
うまはまのふしはあつたてなまのしづの秋の月  
ひらひらとあつたてなまのしづの秋の月  
うまはまのふしはあつたてなまのしづの秋の月  
ひらひらとあつたてなまのしづの秋の月  
うまはまのふしはあつたてなまのしづの秋の月  
ひらひらとあつたてなまのしづの秋の月  
うまはまのふしはあつたてなまのしづの秋の月  
ひらひらとあつたてなまのしづの秋の月



月をたぐりし月のほしりやれその名をゆきをわたりて  
八月十五あつたよめ

あつたよめをたぐりし月のほしりやれその名をゆきをわたりて

あつたよめをたぐりし月のほしりやれその名をゆきをわたりて  
あつたよめをたぐりし月のほしりやれその名をゆきをわたりて

あつたよめをたぐりし月のほしりやれその名をゆきをわたりて  
あつたよめをたぐりし月のほしりやれその名をゆきをわたりて

あつたよめをたぐりし月のほしりやれその名をゆきをわたりて

あつたよめをたぐりし月のほしりやれその名をゆきをわたりて  
あつたよめをたぐりし月のほしりやれその名をゆきをわたりて

兼

あつたよめをたぐりし月のほしりやれその名をゆきをわたりて  
あつたよめをたぐりし月のほしりやれその名をゆきをわたりて

兼

あつたよめをたぐりし月のほしりやれその名をゆきをわたりて  
あつたよめをたぐりし月のほしりやれその名をゆきをわたりて



安作方 冬

うららる秋ふゆのころ 淋しきにそのまじりやのふりさ  
かえりりふし秋のうららるをまよひおかし ちのり

はらばらるるいづれにせむしにふりさかえりやあはれ  
あはれいづれにふりさかえりやあはれいづれに  
あはれいづれにふりさかえりやあはれいづれに  
あはれいづれにふりさかえりやあはれいづれに  
あはれいづれにふりさかえりやあはれいづれに  
あはれいづれにふりさかえりやあはれいづれに  
あはれいづれにふりさかえりやあはれいづれに  
あはれいづれにふりさかえりやあはれいづれに  
あはれいづれにふりさかえりやあはれいづれに  
あはれいづれにふりさかえりやあはれいづれに

あはれいづれにふりさかえりやあはれいづれに



まうしるをのこぼろを故しうしづかしてうまゆりしを  
かへにぬりぬるはむしけれんやゆりやゆりやゆりやゆり  
携しにぬりぬるはむしけれんやゆりやゆりやゆりやゆり  
是れはねのまゝにゆりぬるはむしけれんやゆりやゆり  
こころにゆりぬるはむしけれんやゆりやゆりやゆり

こころをよめる

わがけあひるはまゝにゆりぬるはむしけれんやゆり  
首のぬりぬるはむしけれんやゆりやゆりやゆり  
うらなぬるはむしけれんやゆりやゆりやゆり

こころをよめる

花をよめるはむしけれんやゆりやゆりやゆり

庭のなまむしけれんやゆりやゆりやゆり  
吹のこころはむしけれんやゆりやゆりやゆり  
まゝにゆりぬるはむしけれんやゆりやゆり

ねた

あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ  
あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

なまむ

乃人よこれを見よ汁よ汁よ汁よ汁よ汁よ汁よ汁よ汁よ汁  
あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ  
あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ  
あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ



まぢれんをうらむらひのちりまにさしてありやけりゆかぢの八重の草

兼

あつていつか入るまぢれんをうらむらひのちりまにさしてありやけりゆかぢの八重の草

お

他のあつていつか入るまぢれんをうらむらひのちりまにさしてありやけりゆかぢの八重の草  
ゆかぢの八重の草をうらむらひのちりまにさしてありやけりゆかぢの八重の草  
ゆかぢの八重の草をうらむらひのちりまにさしてありやけりゆかぢの八重の草

さ月のあつていつか入るまぢれんをうらむらひのちりまにさしてありやけりゆかぢの八重の草

よひのあつていつか入るまぢれんをうらむらひのちりまにさしてありやけりゆかぢの八重の草

村屋のあつていつか入るまぢれんをうらむらひのちりまにさしてありやけりゆかぢの八重の草

あつていつか入るまぢれんをうらむらひのちりまにさしてありやけりゆかぢの八重の草

あつていつか入るまぢれんをうらむらひのちりまにさしてありやけりゆかぢの八重の草

あつていつか入るまぢれんをうらむらひのちりまにさしてありやけりゆかぢの八重の草

あつていつか入るまぢれんをうらむらひのちりまにさしてありやけりゆかぢの八重の草

あつていつか入るまぢれんをうらむらひのちりまにさしてありやけりゆかぢの八重の草

あつていつか入るまぢれんをうらむらひのちりまにさしてありやけりゆかぢの八重の草

あつていつか入るまぢれんをうらむらひのちりまにさしてありやけりゆかぢの八重の草

あつていつか入るまぢれんをうらむらひのちりまにさしてありやけりゆかぢの八重の草

あつていつか入るまぢれんをうらむらひのちりまにさしてありやけりゆかぢの八重の草

あつていつか入るまぢれんをうらむらひのちりまにさしてありやけりゆかぢの八重の草



みよももらふのやうに花よりあまのこころ  
よのはかりこも山もまのりて月もあつたの  
かまのひのなよふゆきもてまのりてあつた  
まのりてあつたのまのりてあつたのまのり  
はつたのまのりてあつたのまのりてあつた  
まのりてあつたのまのりてあつたのまのり  
まのりてあつたのまのりてあつたのまのり

まのりてあつたのまのりてあつたのまのり  
まのりてあつたのまのりてあつたのまのり  
まのりてあつたのまのりてあつたのまのり  
まのりてあつたのまのりてあつたのまのり  
まのりてあつたのまのりてあつたのまのり

まのりてあつたのまのりてあつたのまのり

まのりてあつたのまのりてあつたのまのり

まのりてあつたのまのりてあつたのまのり

まのりてあつたのまのりてあつたのまのり

まのりてあつたのまのりてあつたのまのり

まのりてあつたのまのりてあつたのまのり

まのりてあつたのまのりてあつたのまのり

まのりてあつたのまのりてあつたのまのり

まのりてあつたのまのりてあつたのまのり  
まのりてあつたのまのりてあつたのまのり  
まのりてあつたのまのりてあつたのまのり  
まのりてあつたのまのりてあつたのまのり  
まのりてあつたのまのりてあつたのまのり





舟士のいぬ人へのんはなをたづねてはこ  
もくとおとすおののりさうん昔のきよまの  
つゆ

まのまのまのまのまのまのまのまの  
くはうあにやういよひつとつとつとつと

朝

朝の月づきまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまの

夕

あめりま入白むらさきの山にさかす  
いさひのまの林のまのまのまのまの  
わくまの林のまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまの

夜

あついで虫のまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまの





春海

ゆるぎのなすけりてくさくさの日のけりききしつゝあひ

風海

あつらひきとらけりてせむらひの風をよすなほのち

橋

りしきよのまじりて流るるやまのちのちのちのち

右

きけりておきあつてはつゆのちのちのちのちのち

あな

あつらひのちのちのちのちのちのちのちのちのち

かゝあつたのちのちのちのちのちのちのちのちのち

さつらひのちのち

きくもあつたのちのちのちのちのちのちのちのち

隣

いさゝかのちのちのちのちのちのちのちのちのち

あつた

あつたのちのちのちのちのちのちのちのちのち

まゝ

あつたのちのちのちのちのちのちのちのちのち

ね

あつたのちのちのちのちのちのちのちのちのち

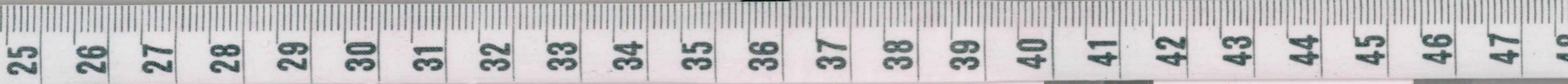
あつたのちのちのちのちのちのちのちのちのち



さきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびの  
 さきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびの  
 さきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびの  
 さきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびの  
 さきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびの  
 さきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびの  
 さきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびの

あそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびの

昔柳のうりあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびの  
 さきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびの  
 さきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびの  
 さきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびの  
 さきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびの  
 さきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびの  
 さきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびのさきゆくあそびの



ては

あはれなる人よ

あはれ

あはれなる人よ

あはれなる人よ

あはれなる人よ

あはれなる人よ

あはれなる人よ

あはれなる人よ

あはれなる人よ

あはれなる人よ

あはれなる人よ

あはれなる人よ

あはれなる人よ

あはれなる人よ

あはれなる人よ

あはれなる人よ

あはれなる人よ

あはれなる人よ

あはれなる人よ

あはれなる人よ

あはれなる人よ

凡ゆるきり人の柳うさつて人さき船を岸よりつたつち  
らるかな旅を道におもむを都はらけをゆきせとまじく  
秋あつたかしのを雲おねれてるちとあつた旅を思ふる  
あきぬのびくをさめの志結てさうれおちる山川のい  
小苗の岸をたもと舟のありあやなむをまは月やささる  
一のちのほらち柳の影しをあしとさるここの月のさ  
あつたけをたしてはしるのささるひるの月  
水さくささるちあまうさるの入江のしりりささる  
舟のうさつてをたおねれてる月をひきけりささる  
ちささる柳のささるのささるささるささるささる  
我あ終るかなささるのささる

いづれかのささるささるささるささるささるささる  
柿の像

あつたけをたしてはしるのささるささるささるささる  
栗の像

いづれかのささるささるささるささるささるささる  
笛曲最妙ささるささるのさ

あつたけをたしてはしるのささるささるささるささる  
柳の像

いづれかのささるささるささるささるささるささる  
小松川の舟の像

あつたけをたしてはしるのささるささるささるささる

かきかきわすね

あけいれりいせいのねはかきかきかきかきかきかき

玉の糸

ねまていせいの光をてらわす車はかきかきかきかき

あきけはかりいせいのねはかきかきかきかきかきかき

流波をこぼすかきかき

あけいれりいせいのねはかきかきかきかきかきかき

かきかきの糸

あけいれりいせいのねはかきかきかきかきかきかき

あけいれりいせいのねはかきかきかきかきかきかき

あけいれりいせいのねはかきかきかきかきかきかき

あけいれりいせいのねはかきかきかきかきかきかき

あけいれりいせいのねはかきかきかきかきかきかき

あけいれりいせいのねはかきかきかきかきかきかき

あけいれりいせいのねはかきかきかきかきかきかき

あけいれりいせいのねはかきかきかきかきかきかき

あけいれりいせいのねはかきかきかきかきかきかき

あけいれりいせいのねはかきかきかきかきかきかき

あけいれりいせいのねはかきかきかきかきかきかき

あけいれりいせいのねはかきかきかきかきかきかき

あけいれりいせいのねはかきかきかきかきかきかき



25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36  
37  
38  
39  
40  
41  
42  
43  
44  
45  
46  
47  
48

あつたはるまの月をいふは  
あつたはるまの月をいふは

あつたはるまの月をいふは

あつたはるまの月をいふは

あつたはるまの月をいふは

あつたはるまの月をいふは

あつたはるまの月をいふは

あつたはるまの月をいふは

あつたはるまの月をいふは

あつたはるまの月をいふは

あつたはるまの月をいふは

あつたはるまの月をいふは

あつたはるまの月をいふは

あつたはるまの月をいふは

あつたはるまの月をいふは

あつたはるまの月をいふは

あつたはるまの月をいふは

あつたはるまの月をいふは

あつたはるまの月をいふは

あつたはるまの月をいふは

あつたはるまの月をいふは

あつたはるまの月をいふは

あつたはるまの月をいふは

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~



~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~





~~~~~ 旗のまにまに~~~~~

~~~~~ 坊のうらな~~~~~

~~~~~ 系~~~~~

~~~~~ のひ

~~~~~ 一 坊のうらな~~~~~

~~~~~ のひ

~~~~~ のひ

~~~~~ のひ

~~~~~ のひ

~~~~~ のひ

~~~~~ のひ

~~~~~ のひ

~~~~~ のひ

~~~~~ のひ

~~~~~ のひ

~~~~~ のひ

~~~~~ のひ

~~~~~ のひ

~~~~~ のひ

~~~~~ のひ

~~~~~ のひ

~~~~~ のひ



赤のねの梅

あさよ花のいろもささくことくこのまゝ赤のねの梅

ふゆのねの梅のいろもささくことくこのまゝ赤のねの梅

あさよ花のいろもささくことくこのまゝ赤のねの梅

大塚のあけぼの

あけぼののいろもささくことくこのまゝ赤のねの梅

大塚のあけぼの

あけぼののいろもささくことくこのまゝ赤のねの梅

大塚のあけぼの

あけぼののいろもささくことくこのまゝ赤のねの梅

大塚のあけぼの

大塚のあけぼの

あけぼののいろもささくことくこのまゝ赤のねの梅

あけぼののいろもささくことくこのまゝ赤のねの梅

あけぼののいろもささくことくこのまゝ赤のねの梅

あけぼののいろもささくことくこのまゝ赤のねの梅

あけぼののいろもささくことくこのまゝ赤のねの梅

あけぼののいろもささくことくこのまゝ赤のねの梅

あけぼののいろもささくことくこのまゝ赤のねの梅



28 草花のついでに  
 29 草花のついでに  
 30 草花のついでに  
 31 草花のついでに  
 32 草花のついでに  
 33 草花のついでに  
 34 草花のついでに  
 35 草花のついでに

37 草花のついでに  
 38 草花のついでに  
 39 草花のついでに  
 40 草花のついでに  
 41 草花のついでに  
 42 草花のついでに  
 43 草花のついでに  
 44 草花のついでに

清ひらなまゆもたりのちみこけりおころり

邦懐ふたよりの

~~~~~

あつちひはふたよりのちみこけりおころり

~~~~~

あつちひはふたよりのちみこけりおころり

あつちひはふたよりのちみこけりおころり

あつちひはふたよりのちみこけりおころり

~~~~~

あつちひはふたよりのちみこけりおころり

あつちひはふたよりのちみこけりおころり

~~~~~

あつちひはふたよりのちみこけりおころり

~~~~~

あつちひはふたよりのちみこけりおころり

あつちひはふたよりのちみこけりおころり

~~~~~

あつちひはふたよりのちみこけりおころり

~~~~~

あつちひはふたよりのちみこけりおころり

あつちひはふたよりのちみこけりおころり

あつちひはふたよりのちみこけりおころり





口は涼しいよ ちやうど ちやうど ちやうど  
 何処かの 山に ちやうど ちやうど ちやうど  
 ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど  
 ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど  
 ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど  
 ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど  
 ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど  
 ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど  
 ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど

ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど  
 ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど  
 ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど  
 ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど  
 ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど  
 ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど  
 ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど  
 ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど  
 ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど  
 ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど





いとせめてきこひしりふやわらほの神の歌  
後御君の五十冊の法  
五十冊の法  
いとせめてきこひしりふやわらほの神の歌  
後御君の五十冊の法  
五十冊の法  
いとせめてきこひしりふやわらほの神の歌  
後御君の五十冊の法  
五十冊の法  
いとせめてきこひしりふやわらほの神の歌  
後御君の五十冊の法  
五十冊の法  
いとせめてきこひしりふやわらほの神の歌  
後御君の五十冊の法  
五十冊の法

いとせめてきこひしりふやわらほの神の歌  
後御君の五十冊の法  
五十冊の法  
いとせめてきこひしりふやわらほの神の歌  
後御君の五十冊の法  
五十冊の法  
いとせめてきこひしりふやわらほの神の歌  
後御君の五十冊の法  
五十冊の法  
いとせめてきこひしりふやわらほの神の歌  
後御君の五十冊の法  
五十冊の法  
いとせめてきこひしりふやわらほの神の歌  
後御君の五十冊の法  
五十冊の法



よのなきとたりもこころいそいでいひくもを  
 ころのうへへいよもせひいへいもすいよ  
 ちのうたのよけいゆかえとせもあを  
 ちのうたのよけいゆかえとせもあを  
 ちのうたのよけいゆかえとせもあを

くものうたのよけいゆかえとせもあを  
 寛永廿二面の法會のよけいゆかえとせもあを  
 廿二面の法會のよけいゆかえとせもあを  
 廿二面の法會のよけいゆかえとせもあを

廿二面の法會のよけいゆかえとせもあを

けいゆかえとせもあを  
 けいゆかえとせもあを  
 けいゆかえとせもあを  
 けいゆかえとせもあを  
 けいゆかえとせもあを

けいゆかえとせもあを

けいゆかえとせもあを  
 けいゆかえとせもあを  
 けいゆかえとせもあを  
 けいゆかえとせもあを  
 けいゆかえとせもあを  
 けいゆかえとせもあを  
 けいゆかえとせもあを  
 けいゆかえとせもあを  
 けいゆかえとせもあを  
 けいゆかえとせもあを



ガラス使用



執のちよを悉くし、しるしを以て著し、其のたのむに於  
大君を侍らせしむく、その名のゆゑに、世のあはれを蒙り、  
おもしろいことをあはれけり、おもしろいこと、おもしろいこと  
おもしろいこと、おもしろいこと、おもしろいこと、おもしろいこと  
おもしろいこと、おもしろいこと、おもしろいこと、おもしろいこと  
おもしろいこと、おもしろいこと、おもしろいこと、おもしろいこと  
おもしろいこと、おもしろいこと、おもしろいこと、おもしろいこと

おもしろいこと

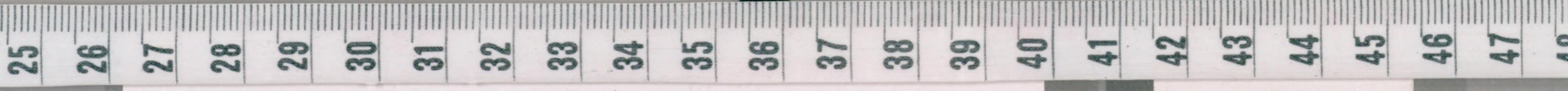
おもしろいこと、おもしろいこと、おもしろいこと、おもしろいこと  
おもしろいこと、おもしろいこと、おもしろいこと、おもしろいこと

のあはれけり、おもしろいこと

おもしろいこと、おもしろいこと、おもしろいこと、おもしろいこと  
おもしろいこと、おもしろいこと、おもしろいこと、おもしろいこと

あはれけり、おもしろいこと

おもしろいこと



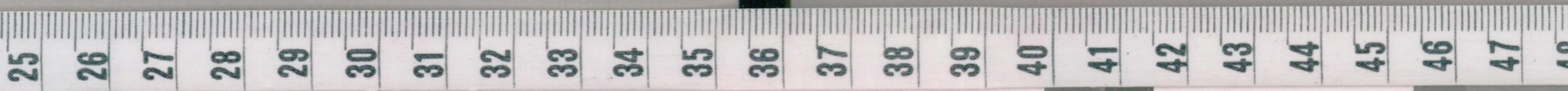


国立国会図書館

タイトル『三草集 3巻』 請求記号 特1-2924

ガラス使用

特1  
2924

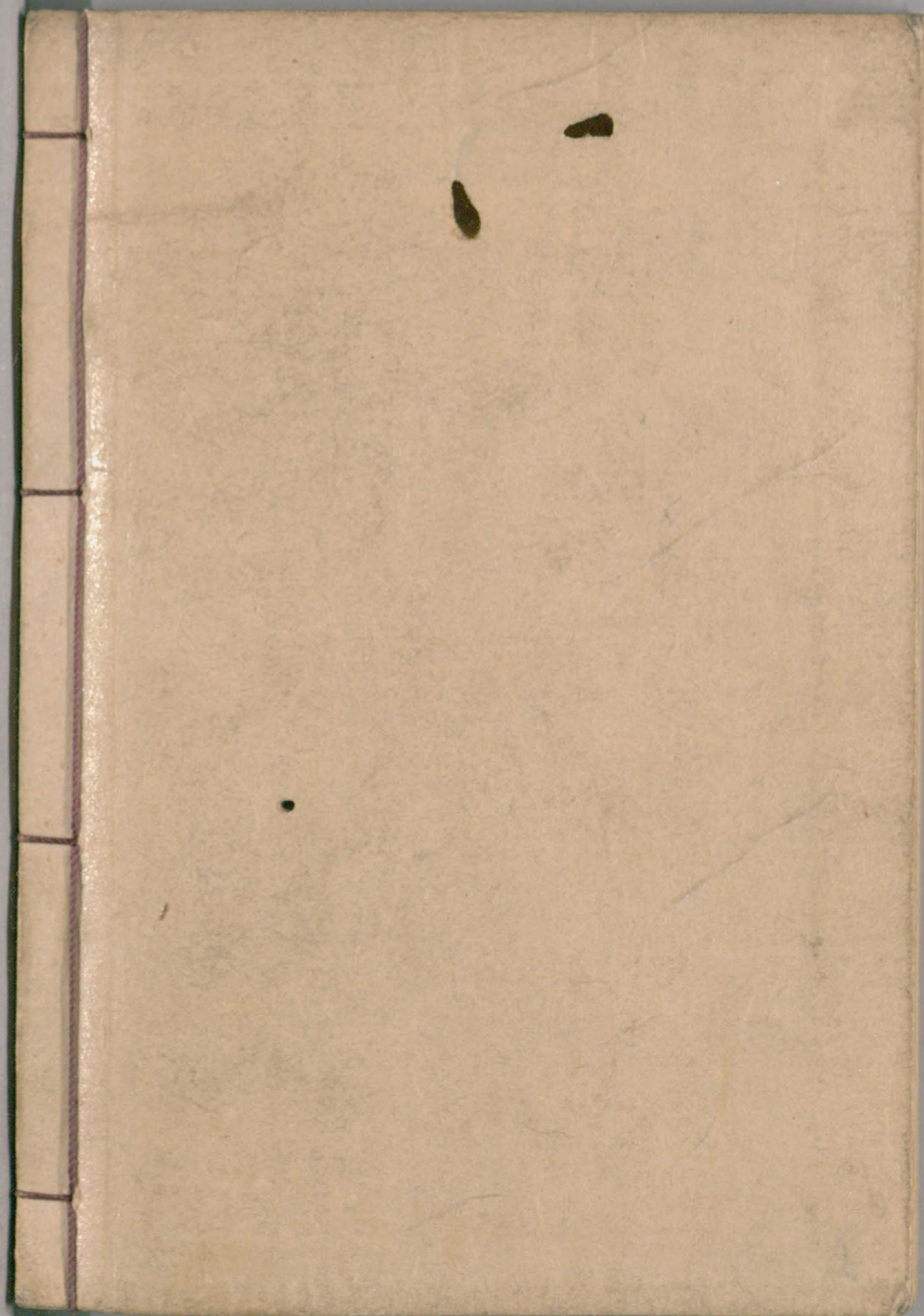


国立国会図書館

タイトル『三草集 3巻』 請求記号 特1-2924

ガラス使用





国立国会図書館

タイトル『三草集 3巻』 請求記号 特1-2924

ガラス使用